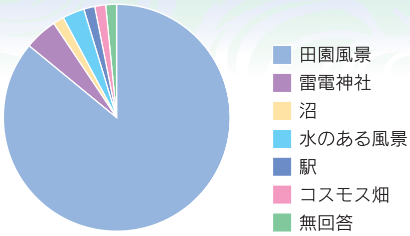
みずば　第4号

発行日　平成19年３月３日
発　行　板倉町教育委員会　文化財保護係
ＴＥＬ　0276（82）1111　内157

板倉らしい風景

　カントリーエレベーター付近から大荷場や細谷方面を見ると、広大な田園風景が臨めます。そこに30数年前まで広がっていたという板倉沼は跡形もありません。現在は2km足らずの大荷場から雷電神社まで、聞けば、2里あったといいます。館林を廻っていたのでしょうか。

板倉といえばどんな風景を思い浮かべますか



（平成18年12月実施　役場職員アンケートより）

営み（いとなみ）

小暮　新八

バチカルポンプ（大荷場）

　田圃に水を入れることは、水稲の命である。私の子どもの頃は、木製の引き樋（とい）で行っており、子どもの仕事でもあった。それが、動力のバチカルポンプに代わった。今ではほとんど見られなくなり、専らパイプラインに依っている。写真のバチカルポンプの稼働は、たまたまパイプラインのくみ上げポンプが故障したので、使われていた貴重なものである。　（平成16年7月　宇治川　哲也）

豆打ち（下五箇）

　昔は、自家製の味噌や醤油を作るために、大豆を作って自分の家の庭で「振り棒」で「豆打ち」をしたものである。これは、畑にシートを敷いてその上で、豆打ちをしている風景で、今ではめったに目にすることのできない風景である。　（平成11年11月　小暮新八）

宇治川哲也

小暮　新八

投網み

篠塚伸二郎

内陸の漁村が伝えるもの

古代より多くの恵みを水辺より手にしてきました。なかでも漁法の技は変わりません。しかし、水質をはじめ自然は大きく変わりつつあります。

地曳き網（柄池（からいけ））

小野田 塡

石橋政雄

キリゴミづくり

子安 悟